

佃漁民ゆかりの地の碑

大阪府・大阪市



1582年徳川家康公がこの地に立ち寄られ、多田神社（現在池田市）に参詣の時、田蓑嶋漁夫等、漁船をつかって、神崎川の渡船を勤めた縁により、漁民等には「全国どこで漁をしても良し、又税はいらない」という特別の褒美をいただき、漁業の一方、田も作れと命じられ、その意をもって田蓑嶋を佃と改めた。

その後、佃漁民らは江戸によびよせられ、隅田川河口に移り住み、佃島と名付けられた。現在は、大阪の佃小学校と東京佃島小学校で地域交流を行なっている。

TOPICS

- ・東照宮祭 5月17日 開催
- ・例祭 10月16日・17日 開催
- ・夏祭 7月31日・8月1日 開催

お問い合わせ先

田蓑神社

TEL / 06-6471-5416

【交通】

徒歩 / 阪神千船駅から15分

徒歩 / JR御幣島駅から20分

